

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 大阪ビジネスフロンティア高等学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	全校生徒（1年・2年・3年） 860名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ ホームルーム ）</p> <p>② 行事名（ 文化祭 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者への理解を深め、パラリンピックへの理解を深める 卒業生からの講演により、将来の生き方を考えさせる。
5 取組内容	<p>1 文化祭時に特別ゲストとして本校卒業生の江口舞さんを全校生徒に紹介し、テレビ出演時の秘話などを話してもらい、次回の講演会へとつなげる。</p> <p>2 江口舞さんから全校生徒に対して講演会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> アーチェリーの試射 事故から現在にいたる経緯について パラリンピックについて

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 普段あまり触れることのない障がい者スポーツに対する理解を深めることができた。 • パラリンピックについての講演を受けることにより理解を深め、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの意識を高めた。 • 卒業生という身近な人物が目標に向かって努力する姿を目の当たりにすることにより、生きることを考えることができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パラリンピック種目を身近に感じるため、江口さんよりアーチェリーの試射を行ってもらった。 • 生徒の興味・関心を引くために、文化祭時に特別ゲストとして招き、24時間テレビ出演時の話などをしてもらう。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度へどのような形でつなげていくか。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 外国のオリンピック・パラリンピアンとの交流 • アスリートによる講演会・交流